

## **島原半島ジオパークリーフレット：平成噴火**

1990年から1995年まで続いた平成噴火は島原半島の火山が時折もたらす脅威のすさまじさを思い出させるものである。この災害の記念物は、失われた暮らしや家々をしのび、引き起こされた被害から学べる多くの教訓を伝えている。

### **がまだすドーム**

雲仙ジオパーク（Unzen Geopark）の本部として、がまだすドームは科学・文化・歴史を一つにまとめている。中には雲仙岳災害記念館があり、ここでは、何世紀にもわたって半島の住民が経験してきた自然災害を紹介するために、体験的な展示やシミュレーションが行われている。

### **土石流被災家屋保存公園（Destroyed Houses Preservation Park）**

この公園では平成噴火により起こされた火砕流で破壊された家屋を保存している。それらの多くは押し寄せた泥と灰と岩の下にほとんどすべて埋もれてしまった。

### **旧大野木場小学校被災校舎（Former Onokoba Elementary School）**

雲状になった熱い灰がこの小学校の大半を燃やし一部を溶かしてしまった。この遺構は災害の記念物として当時のまま残されている。火砕流で焼けた一本のイチヨウの木が再び成長し、現在は学校の運動場だった場所を覆っている。

### **平成新山ネイチャーセンター**

この科学教育施設は平成噴火が生んだ巨大な山、成新山(1,486メートル)からわずか2.5キロのところにある。ここからの眺めは実に見事で、遊歩道が訪問者を山のふもととの再生しつつある自然環境へと導いてくれる。